（様式３）

平成２５年度　　学校関係者評価報告書

大阪市立矢田北小学校　学校協議会

1　総括についての評価

- 前回の学校協議会でＰＴＡ会長が提案した学校独自の体操づくりに、学校が早速取り組んでくれたことにとても感謝している。
- 宿題以外の家庭学習を定着させるために、小学校で学期ごとに配布されている『家庭学習の手引き』の取組みはすばらしい。
- 朝食の大切さを保護者にもっと啓発していってもらいたい。
- 全教職員が協力して様々な取組みをすすめている雰囲気が職員室から感じられた。

2　年度目標ごとの評価

年度目標：学力の向上（各教科・校内研修の充実・自主学習習慣の確立）
『家庭学習の手引き』を学期ごとに発行し、懇談時に配布しながら説明しているところが良い。２学期には家庭学習に取り組んだノートの見本も掲示したとのことだが、今後も、続けてほしい。８割近い教員が自信をもって外国語の授業ができたというアンケート結果は、とても頼もしい。
年度目標：道徳心・社会性の育成（道徳教育の推進・人権を尊重する教育の推進など）
「何事にも進んで取り組むことができている」とアンケートで答えた児童が増加したことは大変素晴らしい。ピア・サポートの教員研修に１名児童も参加するなど、子どもの自尊感情を大切にする取組みを今後も継続してすすめてもらいたい。
年度目標：健康・体力の保持増進（体育的活動の充実・食育）
柔軟運動を取り入れた本校独自の体操（矢田北体操）を体育の準備運動時に実施している様子が、よくわかった。今回、学校協議会でビデオによる説明をしてもらえた点が良かった。 玄関・廊下に栄養指導の掲示があり、子どもや保護者の意識が高まった。 また、保健だより（のびのび）や給食だより（ぱくぱく通信）も工夫されていることがわかった。
年度目標：学校経営（その他）
地域としても、学校から情報発信（ホームページの更新）される内容を、できるだけチェックしていきたい。 矢田北まつりや人権学習発表会など、保護者が参観できる機会が増えることを期待する。 来年度からは、土曜授業が年間６回行われるので、できるだけ学校に足を運びたい。

3　今後の学校運営についての意見

今年の教育アンケート（児童）のなかで、「学校のきまりを守っている」と答えた児童の割合が７割を超えているという結果からもわかるように、今の矢田北小学校は、重大な暴力行為やいじめも見られず、大変落ち着いているように思われる。また、全教職員が協力して様々な取組みをすすめている良い雰囲気が職員室からも感じられる。これからも、学校と保護者と地域が協力して、「豊かな人間性とたくましく生きる力を身につけた『矢田北っ子』の育成」をめざして、ともにがんばっていきたい。